

文庫めぐり

(6)

順天堂大学医学部山崎文庫

〔来歴と概要〕 医事法制史の権威として斯界に名をはせ、日本医史学会の第五代理事長をつとめた山崎 佐が、確かな史眼をもって長年にわたって蒐集した資料は、戦災を免れて鎌倉市極楽寺の自宅にある由之庵書庫におさめられていたが、一九六七年氏の没後、生前からの意志によって順天堂大学に寄贈された。

山崎 佐は東京帝国大学法科大学（現東大法学部）を卒業後、検事あるいは判事として法曹界に活動の場をもとめ、後在野の弁護士として長年にわたって活躍した。この間東京帝国大学医科大学（現東大医学部）で医事法制史の講義をおこなったのを手始めに、十指にあまる全国の医科大学で講義をつづけた。執筆活動と並々ならぬものがあり、『日本疫史及防疫史』や『江戸期前日本医事法制の研究』をはじめ、膨大な数の著書や論文として実を結んでいるが、これらの研究の基礎資料になったのが、本山崎文庫に収蔵されている史料である。

山崎 佐の父周太郎は明治一五、六年ごろ、千葉県木更津の地に開業するに先立ち、数年間順天堂医院内科で臨床経験を積み、また兄直も同じ内科に出局した順天堂一家であ

る。そのような関係から昭和四一年一月に、一万二千二一一点におよぶ図書や文献類が順天堂大学に寄贈され、医学上の貴重な資料として活用される道が開かれた。

山崎 佐の経歴からもわかるように、収蔵されている資料は法制学領域の書物が中心であるが、氏の幅広い学問的興味に裏付けされてさらに広範囲にわたる領域の資料に満ちている。一般史の分野では、武鑑をはじめ郷土史、温泉誌など、また明治初年の条例や布達などをはじめ、旧朝鮮や満洲をふくむ全国にわたる地方制度の資料もみられる。

医学の分野では医学書や医師の個人伝記、基礎と臨床各科にわたる和本や洋装書、なかでも公衆衛生関係や医事法制の分野の資料は圧巻である。

〔蔵書目録〕 『山崎文庫目録』順天堂大学図書館編、一九六九年、三二〇頁

〔所在地〕 東京都文京区本郷二一一一 順天堂大学医学部医史学研究室内 〒113-8421 ☎〇三三三八二三一五九二

〔利用法〕 一〇時から一七時まで（日曜休み、土曜は午前中）貸出しはしない。カメラでの撮影は自由だが、複写は業者に委託する。

（深瀬 泰旦）